



No.2
2007.4.20

編集・発行

社会福祉法人笠間市社会福祉協議会広報委員会
笠間市美原 3-2-11 TEL.0296-77-0730
E-mail info@kasama-syakyo.jp
U R L http://www.kasama-syakyo.jp/

かさま

社協だより



も く じ

平成19年度 事業計画および予算 2～3
「笠間市社協合併記念講演会」 4～5
支所だより 6～7

みんなの広場 8～9
お知らせ 10

計画および予算



笠間市社会福祉協議会
会長 海老原 元彦

会長あいさつ

事業計画内容

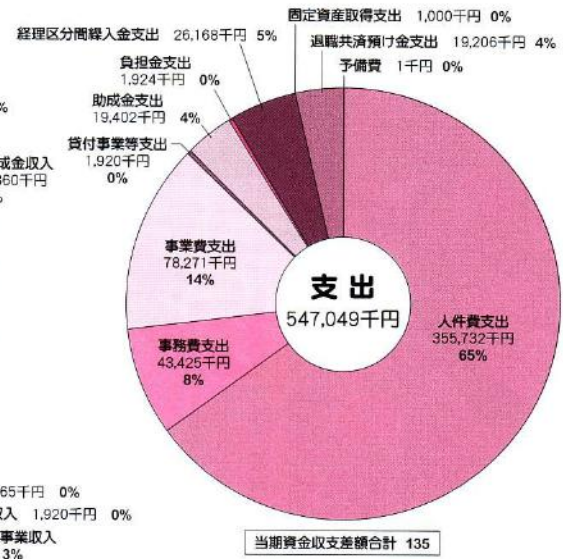
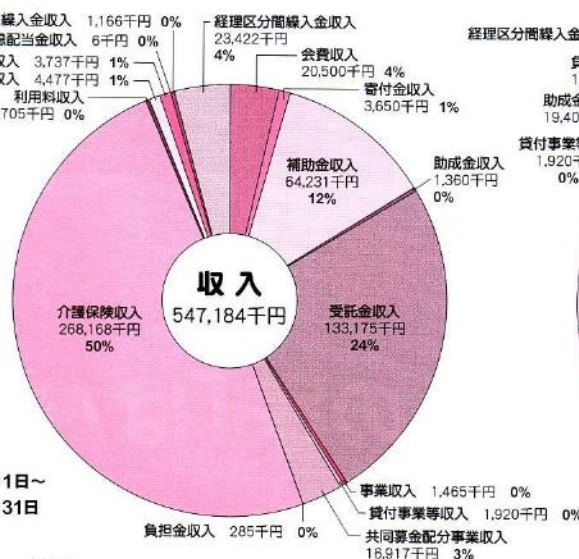
- 理事会・評議員会の開催
- 部会・委員会・特別委員会の開催
- 社協財源確保
- 「地域福祉活動計画」の策定
- 地域福祉事業の支援と充実
- 広報活動の充実
- 貸付事業の実施
- ボランティア活動の促進
- 老人福祉活動の充実
- 障害児・者福祉活動の支援と推進
- 児童青少年福祉活動の支援と推進
- 母子福祉対策の支援と推進
- 福祉育成・援助活動の充実
- 「団塊世代の講座」の開催
- 「サロン(しゃべり場)づくり応援事業」の支援
- 「防災・災害救援事業」の支援
- 介護保険、障害者自立支援事業の運営
- 親子通園事業の運営
- 心身障害者福祉ワークスの運営
- 地域ケアシステム推進事業の運営
- 軽度生活援助事業
- いきいき活動支援通所事業の運営
- 福祉センターおよび社会福祉会館管理運営
- 「いこいの家はなさか」の運営

社協会員の皆様には、日頃から市社協事業の運営につきまして、深いご理解とご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。
社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的な団体として、行政、各団体等との連携を図りながら、市民一人ひとりが住んでよかった「まち」づくりを目指して参りたいと考えておりますので、さらなるご協力をよろしくお願い申し上げます。

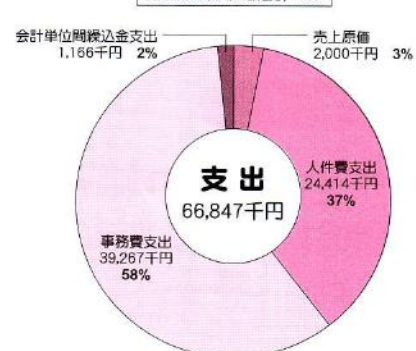
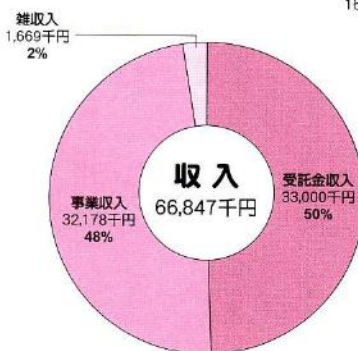
平成19年度

一般会計資金収支予算

平成19年4月1日～
平成20年3月31日



特別会計(はなさか)予算





平成19年度

市社協事業

平成19年度 笠間市社会福祉協議会人事

	所 属	職	氏 名	所 属	職	氏 名
本 所	総務	事務局長(嘱託)	石井 善昭(笠間支所より)	総務総括	主幹	柴沼 真一
		主幹	小沼 俊之(岩間支所より)	地域総括	主幹	松田 勉
	介護総括		羽方 淳子(笠間支所兼務)			
友 部 支 所		次長兼支所長	福田 秀樹(新採)	総務・地域	グループ長	富施 信行
	地域・ボランティア	主幹	遠西 裕子	総務	主事補	山田由美子
	作業所たけのこ	主幹	藤川 勝敏	作業所たけのこ	主幹	吉成 和美
	生きがい活動	指導員	堀 のり子	地域・地域ケアシステム	コーディネーター	会澤由希子
	パル・ともべ	コーディネーター(嘱託)	生天目純子	介護事業	グループ長	木村 節子
	居宅介護	介護支援専門員リーダー	今成 良江	居宅介護	介護支援専門員リーダー	岡野 利江
	居宅介護	介護支援専門員(嘱託)	星谷 清美	訪問介護	介護員リーダー	松田 順子
	訪問介護	介護員リーダー	立原 和子	訪問介護	介護員リーダー	島田 輝子
	通所介護	看護員リーダー	光又 宏子	通所介護	介護員リーダー	柴崎 修一
	通所介護	介護員	大和田京子	通所介護	調理員	川俣 敏子
	訪問入浴	介護員リーダー	岩間 洋	いこいの家はなさか	はなさか支配人(嘱託)	松田 久光
	いこいの家はなさか	応接員リーダー	萩原 里美	いこいの家はなさか	応接員リーダー	水庭ちさい
笠 間 支 所		次長兼支所長	小菅 栄子(友部支所より)	総務・地域	グループ長	倉持 淳子
	地域・地域ケアシステム	主幹	片岡 博司	総務	主事	米川 初美
	生きがい活動	指導員	富田 英夫	作業所ニコニコハウス	指導員(嘱託)	坂梨 博昭
	介護事業	グループ長	羽方 淳子	居宅介護	介護支援専門員リーダー	外山 裕子
	居宅介護	介護支援専門員	清宮 知加	居宅介護	介護支援専門員	高瀬 修一
	居宅介護	介護支援専門員(嘱託)	黒沢美代子	訪問介護	介護員リーダー	太田 菊江
	訪問介護	介護員リーダー	仲田八重子	通所介護	介護員リーダー	奈良部恵美子
	通所介護	調理員	塩崎 愛子	通所介護	看護員	松本 淳
	通所介護	介護員	秋野 知美	通所介護	介護員	関根 紀江
		支所長	小池 和夫	総務・地域	グループ長	海老澤清美
岩 間 支 所	地域・地域ケアシステム	主幹	矢口 勝博	総務	主事	片岡 光子
	作業所あおぞら	指導員	鈴木美佐代	介護事業	グループ長	佐竹百合子
	居宅介護	リーダー	坂野 次郎	訪問介護	リーダー	入江 緑

※紙面の都合上、常勤職員のみ記載しております。

平成19年度 笠間市社会福祉協議会部会、委員会名簿

部会・委員会名	委員長	副委員長	委 員
総務部会	佐藤 英男	北條 敦子	深澤 剛 島田 栄 石崎 勝三
地域福祉部会	中村 清	宮本 富子	船橋 慶子 久保田満子
介護事業部会	園部 昭徳	福井 ふみ	立川 孝子 森 重正
心配ごと相談所運営委員会	打越 久	西山 澄児	瀬畑 洋子 安見 繁 川崎 史子 阿部 幸雄 榎並 和子
ボランティアセンター運営委員会	船橋 慶子	久保田満子	宮本 富子 高久 照美 石本 芳子 常井 義代 梅崎 孝臣 菊地 寿代 海老澤 勉
生活福祉資金貸付調査委員会	瀬畑 洋子	山野辺健二	北條 敦子 福井 ふみ 石井 善昭
支部社協運営委員会	皆塚 和昭	深川 義明	飛田 文雄 笹目 弘子 磯山 寅次 菅谷 正子 寺内 寛 中村 清 久野 昭 富田 新一
広報委員会	皆塚 和昭	山田 昇	強口 玄子 久保田満子 金井 克己 関 令子 平本 増治 鶴田 浩一 小野 武 吹野美美子 海老沢信雄 村尾 哲男 入江 勇太

部会及び委員会	所 管 事 項
総 務 部 会	1 一般会計予算・決算に関する事 2 特別会計予算・決算に関する事 3 定款、規程、要綱に関する事 4 指定管理者に関する事 5 他の部会及び委員会所管事項以外に関する事
地 域 福 祉 部 会	1 いきいき交流通所事業に関する事 2 いきいきふれあい通所事業に関する事 3 お通所者健康部通所事業に関する事 4 軽度生活援助事業に関する事 5 地域ケアシステム推進事業に関する事 6 在宅福祉サービス事業に関する事 7 心身障害者福祉ワークス運営事業に関する事 8 親子通園事業に関する事 9 給食・配食サービス事業に関する事 10 福祉機器貸出・輸送に関する事 11 その他地域福祉に関する事
介 護 事 業 部 会	1 介護事業の運営に関する事 2 その他介護事業に関する事
広 報 委 員 会	1 機関紙等の発行に関する事 2 その他広報事業に関する事
心配ごと相談所運営委員会	1 心配ごと相談所の運営に関する事 2 その他相談事業に関する事
ボランティアセンター運営委員会	1 ボランティアセンターの運営に関する事 2 ボランティア活動の啓発、推進に関する事 3 ボランティアの育成・研修に関する事 4 善意銀行預託金品等の配分に関する事 5 その他ボランティア活動に関する事
生活福祉資金貸付調査委員会	1 生活福祉資金貸付調査に関する事 2 小口資金貸付に関する事 3 その他貸付に関する事
支 部 社 協 運 営 委 員 会	1 支部、地区社協設置推進に関する事 2 支部、地区社協運営に関する事 3 その他の支部、地区社協事業に関する事

記念講演会 よう福祉力

去る2月25日笠間公民館に、茨城大学助教授 長谷川 幸介先生をお迎えして、笠間市社会福祉協議会合併記念講演会が開催されました。

基調講演は、「地域の福祉力」についての一端を述べられ、異なった地域社会が合併して成長していくためには、地域住民相互が「協働型のまちづくり」活動を展開していくことの大切さを、ジョークを交えながら、ユニークな話法で力説され、満員の参加者は、和やかな雰囲気の中で、福祉への熱い想いを抱きながら聞き入っていました。

講演

「同じだが違う、違うけど同じ」 「コミュニケーションと 相互理解による福祉の向上」

茨城大学助教授 長谷川 幸介先生

はじめに

福祉の「福」も「祉」も幸せを表す文字です。笠間市は今、幸せの舞台が出来、問題は中身です。友部は支部社協という舞台を持ち、笠間は町内会を基盤、岩間は社協を中心として、それぞれの福祉を持っております。これから、「それらをどうつないでいくか」ということです。

福祉の「福」も「祉」も幸せを表す文字です。笠間市は今、幸せの舞台が出来、問題は中身です。友部は支部社協という舞台を持ち、笠間は町内会を基盤、岩間は社協を中心として、それぞれの福祉を持っております。これから、「それらをどうつないでいくか」ということです。

人間は一人では生きられない
人間が生れ育つには、自然界の環境に自ら順応して生き、社会という生活の場を作って来た



風邪をおしての熱弁

にするため、血縁 地縁 友縁、職縁のネットワークを大切にし、人との絆を強めて来ました。これが、今、どうだろう、親子、夫婦、祖父と孫など血縁の絆は、子どもに「一番好きな人は」とたずねると、①はお母さん、②はともだち、③はお父さん、④はおばあちゃんとの答えが多い。友縁・地縁にしても、一世を風靡した歌謡曲「別れの一本杉」や「木綿のハンカチーフ」の歌詞にこめられた深い友情の絆、当時の世相を歌われ残されて来ました。

我々は次の時代に伝えられる歌が作れるでしょうか。その責任は重いと感じます。

職縁はどうか、定年退職者をなぜか「イオン族」と呼ばれています。また奥さんは、旦那が毎日家にいるようになり昼食を作らなければならぬので、暇がなくなり大変とのこと。若い頃を想い出して、夫婦の会話をもちたいものです。

これらの4つのネットワーク



クが糸のようにつながり、強い絆が保たれて地域活動の基盤となっていくのです。

支部社協活動と地域社会

戦後、地域社会の連携を保った隣組組織は形態を変え、各種組合などが結成され、続いてアメリカから社協が導入されました。当時地域には団体も多くつくられ、市町村に社協が誕生してきたのです。

それは人とのつながり、かか



笠間市社協合併

考えてみ

わり合いからです。そしてそのなかから福祉への関心がたかまり、地域社会での生活課題の解決が福祉へと発展し、ボランティアとして活動する人が増えました。その活動拠点として、それぞれ持前の社協が継続されてきたものです。

支部社協活動と地域社会は、切っても切れない関係が生じているのです。

●笠間市社協の21世紀戦略は

異なった3つの市と町が合併したこと、これからの福祉は、まちづくりと、支部社協とのかわりが考えられます。

例えば今ここに4人の人がおり、それぞれの好みに合ったおにぎりを作るのは大変、どうしたらよいか、それはみんなで話し合って作ることはできないでしょうか。

笠間市の住民は、何代も前から住んでいた人・成長期に来た人・家が決まっていなかった人・外国からの人、これらの人びとと一緒にするのは大変、それには、異なった環境の人びとが集まって、幸のネットワークを持つことです。

「同じだが違う、違うけど同

じ」の相互理解が必要で、協働型のまちづくり活動を行い、意識の改革につとめることです。それによって真の幸せを求めて福祉をめざす住民の絆を強め、福祉にかかわるボランティアの情熱をたやすることのないよう、10年位かかっていくことです。急いではいけない。と新市の福祉向上にご教示をいただきました。

●おわりに

「一歩前進、二歩後退」真実に向かって、誰かしらたどりつくかも知れない。で講演を締められました。



感想

一歩前進二歩後退

人生あわてなくても

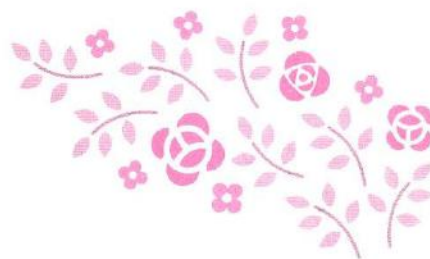
六戸支部前女性部長 小川 福子

家族の崩壊、人間は独りでは生きられない。よって、4つの縁「血縁・地縁・友縁・職縁」が納豆のように絡み合って社会生活が送られる。先生が30年かけてまとめたデータ、歴史等をもとに、社協活動の必要性・重要性を、笠間大好きな先生はユーモアを交えて熱く語ってくださいました。

昭和の合併・平成の合併と経験したにもかかわらず、何事もなかったように大きな流れを何の抵抗もなく受け入れられる自分は幸せなのか、鈍感なのか計りようもない。そして先生は、

「ゴリキーの短編小説から『道中お大事に』を引用して、今後の社協活動の道しるべをつけてくださったのではないのでしょうか。『侃侃諤諤』論議はもういいでしょう。雨がぼつぼつ降ってきたし、何か行動を起こしていかなければ、福祉とは幸せを作り上げていくこと、真実に向かって一歩前進二歩後退。

とにかく歩き始めようと、私



「福祉力」の資質能力は、人と人とのつながり、地域社会を作る力。そして、よりよい地域社会を作ろうとする意欲であり、構想力であり、実行力なのです。福祉力の根源である他者への関心や、愛着と信頼感を、より一層高め、豊かな地域社会を築きましょう。

(皆塚・山田・関)

だより

心強く楽しい

笠間市の地域に密着した高齢者の福祉活動の方向は――。

個性的なサービス「ミニデイサービス」を実施している笠間支所や、男性ボランティアによる、ひとり暮らしの高齢者に、手作り弁当を配食をしている友部支所の他、閉じこもりがちな高齢者が、要介護状態への進行予防に役立つよう、「いきいき交流活動通所事業」若間支所等、それぞれの支所ごとに独自の特性を生かしながら、さまざまな活動を展開しております。

本欄ではそれらの状況を、多くの方々に知っていただくために紹介いたします。

笠間支所

仲間に会える喜び

笠間地区のミニデイサービスは、65歳以上の高齢者を対象とし地区公民館5カ所を活用して、閉じこもり防止や自立支援（介護予防）を目的に実施しております。地域によって内容に特色があり、1回に15人から30人が利用しております。

スタッフの体制は、指導員1人・看護師1人・さらに地区ボランティア2人が入ります。

一日の流れは、朝の健康チェックの後、入浴や趣味活動・おしゃべり、午後は、みんなでレクリエーション（体操やゲーム、歌等）をして過ごしております。

重要なのは、まずミニデイを利用してもらうことであり、それぞれが自由にやりたいことをしながら、みんなで和気あいあいと楽しく過ごしてもらうことではないでしょうか。誰もが持っている「自分らしく生活したい」という目的達成のためのサービスだと思っています。

現在では人数も増え、毎週の利用を楽しみにしており、仲間に会える喜びや話題を共有しあえることは、「生きがいづくり」のひとつだと、利用者やそれを支えるスタッフから感想を頂きました。



帰宅時の利用者は、とても高齢とは思えないほど足取りも軽く、声を掛け合って別れを惜しむような姿が、今では笠間地区の日常的な風景になっております。



（入江）

友部支所

男性ボランティアによる配食サービス

笠間市社協友部支所内には、37のボランティアグループがあり、積極的に活動を展開しております。今回は、県内でもめずらしい存在である男性だけのボランティアグループ「配食みちくさ」を紹介いたします。

さて、「配食みちくさ」のメンバーは、代表の笹嶋秀介さん以下40歳から80歳代の約70名で構成され、年々メンバーの



数も増加しております。

このボランティアグループは友部支所管内に住むひとり暮らしの高齢者約150人に、自分たちの手で作ったお弁当を月2回（第1・第2土曜日）配るサービスを行っています。

メンバーの大部分は、旧友部町社協が企画した「男の人の食事学講座」を受講し、平成11年に「配食サービスお試し会」を始めたのが、活動のきっかけでした。

開始時には、いろいろと注目されましたが、その後、現在のように名称が変わり、仲間も増

支所

仲間がいれば



高齢になっても自立を維持しながら、人間としてのプライドを持って生き抜きたいものです。誰にでも介護をされる可能性はありますが、最も大切なことは、寝たきりにならないように自らが気をつけること、自分で自分の介護をすることでしょう。それには、バランスのよい食事をとること・よく体を動かすこと・生きがいを持つこと等を心掛け「生きていてよかった」と感じられるようなあり方を、つくり出すことだと思います。

岩間支所

高齢者とボランティア一体の 楽しい「いきいきサービス」

岩間地区で一番利用者が多く楽しく行われている「いきいき交流活動通所事業」元氣な高齢者の方に、血圧測定・入浴・健康体操や、ボランティアの方による舞踊・大正琴・カラオケ・折紙・お遊びゲーム・輪投げなどをを行い自立支援を目的として実施しております。

利用者は、その地域により4ブロックに分かれて、毎週水曜日と金曜日に、1ブロック



クずつ福祉バスの送迎を受け、「福祉センターいわま」で実施しております。



1回の利用料は500円。看護師による血圧測定・健康相談を行い、大広間で(40人〜50人)参加者は、食事が出来るまでの時間、自分が作った野菜の自慢話や体調の話でにぎわっています。昼食が配膳されると、食事担当のボランティアから今日の料理の説明があり、利用者は、感謝の気持ちで会食に入ります。食事休みの後、午後1時から

加していき、今日に至ったわけです。

お弁当を作るに当たっては、管理栄養士の小澤先生に献立から調理まで懇切にねいに指導をいただいております。

配食後は、栄養士さんを囲んでメンバー全員で会食します。

食事後、代表や関係の係から反省点を述べたり、諸連絡があり、栄養士さんからその日の料理のことや、良かった点・改善すべき点などについてご指導があり、次の配食の際に生かすようにしています。

(鶴田)

レクリエーションが始まります。約1時間30分位で終了、それぞれ送迎バスで午後3時位までに帰宅します。

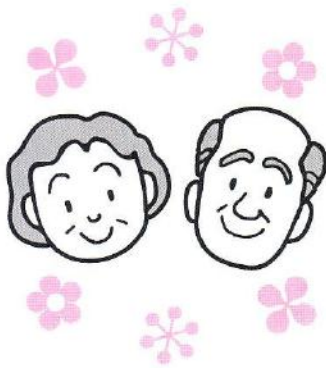
食事担当は、8サークルのボランティアが順番で行い、男の料理教室を修了したサークルもあります。レクリエーションは地域の方の趣味のサークルが多くボランティアで行われます。回を重ねており、利用者、ボランティアの方が一体となって会場をわかせ、みんないきいきとして笑いがいっぱいです。

(山田)

利用者の声

○家にいるより楽しいし、お話しも出来る。

○元気でいつまでも来たい。
○この事業を続けてください。



介護予防に健康体操を 笠間シルバーハビリ体操指導士会

大井 飯村 七重



このたび、
県立健康プラ
ザ・笠間市、
そして関係者
の皆様方の協力のもと「笠間・
シルバーハビリ体操士会」が
設立されました。心より感謝申
しあげます。

さて、この「シルバーハビ
リ体操」は、高齢社会に対応す
る介護予防対策の一環として、
県立健康プラザの管理者である
大田仁先生が考案されました。

この体操は、「椅子での体操」「床
での体操」「寝てする体操」「起
立の体操」からなり、それぞれ
1と2で構成されています。
そして、誰でも気軽に楽しく、
取り組みやすく、人気を集めて
体操しています。

笠間支部も、社会福祉協議会
等間支所のご協力により、昨年
三月から、地域ボランティアの
会・ミニデイサービス・地域長
寿会の健康講座等に参加して「シ
ルバーハビリ体操」の紹介を
してまいりました。

今後、私たち指導士会は、地

域の高齢者のみなさんに「介護
予防の必要性」「リハビリ体操
の効果」等について理解を深め
普及を図りたいと考えています。

これからは、一人でも多くの
方が健康で生活が出来るように
するために、私たち指導士は、
リハビリ体操で汗を流し、趣味
を生かし、支え合える地域づく
りにお手伝いをしていきたいと
思います。



地域福祉に想う

柿橋 桐原 元



私の両親は
97歳と91歳
だが、ふたり
で一人前にも

満たないと言いつながらふたりだ
けで生活している。人間はだれ
でも自立した生活を望むが、加
齢による衰えで本人の努力だけ
では生活全体をカバーすること
はできない。不足する部分を多
くの人に支えられて感謝しなが

ら補ってもらふ姿を見るとき、
地域福祉の大切さ、ありがたさ
を痛感している。

社協は地域福祉推進の司令塔
です。合併によってより豊富な
活動内容と情報を備えており、
支部社協、地区社協の活動も含
め地域の福祉に対して積極的に
指導と支援を行って欲しい。

私は定年後すぐ社協主催の福
祉講座に参加した。その後ボラ
ンティア活動を始めて9年にな
る。7年前には居住地域（団地）
の高齢化に対応するため、多く
の仲間と共に高齢者クラブを立
ち上げた。高齢者が健康で自立
生活を維持し居住地で福祉の担
い手になるため、みんなが知恵
をだしあい楽しみながら取り組

んでいる。活動は、スポーツ・
レクリエーション・環境美化・
学習会・防火防犯・住民福祉・
他組織との交流と多岐にわたる。
お互いにより親しくなつて遠慮
なく助けあえる関係をつくりた
い。そしてこれが団地住民全体
の支えあいに広まることを願っ
ている。

両親が居住地域で受ける多
くの人の支えに感謝し、私も笠
間市民として市や社協から各地
域の福祉やボランティア・高齢
者クラブ・安心安全な地域づく
りなどに関する活動の情報や指
導を受けて、ボランティアや高
齢者クラブの仲間と共に、お金
をかけない住民手づくりの地域
福祉に微力ながら参加して行き
たい。

笠間市が子どもたちや障害を
持つ人、高齢者も安心して暮ら
せる町になつて欲しい。



旧岩間町社
会福祉協議会
主催の朗読講
座を受講した

高齢者に幼児に語り続けて20年！

吉岡 吉岡 宏子

有志たちで、小さな流れでもゆ
るやかに長く続けたいという思
いで「せせらぎ」と名づけ発足
してからまもなく20年、先進



健康人

ゲートボールに 生きがい



下市毛
太田 宏さん

このコーナーは、元気で地道に活動している人を取り上げます。今回は、下市毛（城南地区）の太田宏さん（85歳）を紹介し

ます。ゲートボールを始めたのは、昭和60年と言うから今年で22年になる。小雨や酷暑、厳寒の日など誰もが表に出たくないような日でもメンバー10人と共にほとんど毎日練習している。継続は力なりを地でいっている。練習も試合の実戦形式をとり、緊張感と仲間のボールを有効に利用する、道筋を計算して打つなど作戦を練りながら進んでいる。

また、メンバーで練習を休む人がほとんどいないのも特徴である。これはメンバーが少ないのと練習後の休憩・談話などのコミュニケーションに役立っているからである。

家から一歩出れば、気分転換

太田さんは、信望がありこのチームの責任者である。審判をする時は、3000歩も歩くというから運動量も多い。心・技・体と頭脳の訓練になっていることが若さを保つ秘訣と思う。

ゲートボールを始めた当初



みんな

地の見学や茨城放送の先生から発声法など基礎から始めました。当時は有線放送で朗読の時間があり、会員の個性で選ばれた物語や民話、エッセイなどを収録して全戸放送されたのもなつかしい思い出のひとつです。

活動の場が増すにつれ、県立図書館をはじめ、水戸生涯学習センター・近隣地区の研修会や境町・東海村との交流会で多くを学びつつ、岩間図書館や小学校での読み聞かせに生かすよう努めました。保健課の依頼で3歳児健診の時や歯科補助事業として各幼稚園・保育園を訪ねて行う人形劇は子どもたちに大人気。脚本から人形製作まで会員個々の特技が発揮されます。

昨年からは6か月児と保護者を対象に抱っこの暖かさや愛情を感じ、本を開いて話しかけることの大切さをすすめる「ブックスタート」も始まり、新会員の加入で期待がふくらみます。また、合併を記念して発刊された「いわまの伝え話」を飯田

がない、晩酌に日本酒をコップ一杯なども役立っている。健康の秘訣は、50歳台で煙草をやめたこと、食事の好き嫌いを

利夫元茨城放送チーフアナウンサーの指導で「共通語」と「方言」に分けてその一部をCDに収録しました。さらに、方言で名優（会員）が演ずる劇にまで発展し、折々の集会で発表し好評を得ています。

今、ゲームなどの一方的な映像の影響で対話のうすれている家庭の中に昔話を伝えることで、会話を楽しめ、ふるさとを知り読み聞かせを通して読者の広がりとなればうれしいです。

感性豊かな子どもたちに励まされ、さまざまな出会いで意見を交わしながら、育ちあう仲間づくりをめざしたボラティア活動をこれからも続けていきたいと思っています。



太田さんから、ゲートボール及びグラウンドゴルフをする新規会員を募集しているとのコメントがあった。（村尾）





善意の寄付も「あいがとう!!」(善意銀行預託)

平成18年11月1日～平成19年1月31日まで(順不同・敬称略)



物 品

鈴木 壽	リハビリパンツ
入江まゆみ・ゆかり	使用済切手
坪来 征子	ティッシュ
岡本ミドリ	紙おむつ100枚
稲野直子	使用済切手
矢田 茂	タオル120枚
入江まゆみ・ゆかり	使用済切手
秀芳会笠間支部	使用済切手1240枚、使用済テレフォンカード41枚
郡司 友子	使用済切手
笠間幼稚園PTA	使用済テレフォンカード54枚、使用済切手1509枚
川連 キヌ	使用済切手150枚
匿名	電動ベッド1台
笠間地区民生委員児童委員協議会	使用済切手610枚、使用済テレフォンカード27枚、未使用葉書2枚
池野上順一	古着
関東セキスイ工業(株)	使用済切手
笠間市医師会 訪問看護ステーションひまわり	使用済切手
(有) グリュエール	クリスマスケーキ5ホール
ガールスカウト茨城県第30団	水ヨーヨー
倉持商店(有)	使用済切手
笠間市学校給食センター	使用済切手600枚
太田京子	使用済切手
匿名	書き損じ葉書40枚
大嶋千賀子	使用済切手
匿名	使用済切手
谷中信也	使用済切手
入江まゆみ・ゆかり	使用済切手
宮本 幸男	未使用葉書
匿名	タオル
常陸鋳造工業所(株)	シルバーカー溶接修理
ガールスカウト茨城県支部第5団	書き損じ葉書26枚、使用済テレフォンカード2枚、使用済切手
ケアハウスかさま	使用済切手
牧田 正夫	使用済切手150枚、ハガキ17枚
水戸ヤクルト販売(株)	車椅子2台
ボランティアサークルありんこ	未使用切手11,520円分
豊田 とら	雑巾70枚
塚本 悦子	介護用品
富士寿友会	雑巾100枚
堀 紀子	アルミフルトッ
佐藤満州夫	未使用ハガキ22枚、フルトッ
山口 進	白米30kg 土瓶2個
久保田縫製	生地(多数)
塩畑 芳彦	野菜多数
滝田 好	米25kg
岡村 浩	大根30本
松田セイ子	ぞうきん20枚、たわし22枚
来栖満寿男	野菜多数
インターバック株式会社	弁当容器800個
植田恵津子	子供用ベッド
菅野藤一郎	未使用ハガキ36枚
岩間第一幼稚園	使用済切手5998枚、テレカ他33枚
鈴木 由美子	ペットボトル10箱、64本

金 銭

茨城ダンススポーツクラブ	20,000円
日本盆栽協会笠間支部	5,600円
池野辺地区運動会実行委員会	8,737円
藤井 都	1,500円
財団法人日本ボールルームダンス連盟	50,000円
笠間カラオケ振興会	37,724円
パシフィックススポーツプラザ笠間	33,973円
笠間稲荷門前通り おかみさん会	4,760円
ガールスカウト茨城県支部第5団	2,800円
笠間市立岩間図書館	23,642円
谷 静江	2,000円
フリーマーケットはちみつ倶楽部	2,500円
芸道35周年記念チャリティー演歌まつり実行委員会	120,000円
檜山 成男	10,000円
笠間市チャリティゴルフ愛好者	244,103円
フリーマーケットはちみつ倶楽部	2,500円
フリーマーケットはちみつ倶楽部	2,500円
友部読書会連合会	70,000円
ガールスカウト茨城第20団	3,000円
茨城県中央農業協同組合	20,000円
中村 晃	500,000円
旧陣屋レクリエーションクラブ	39,155円
ボーイスカウト友部第1団	20,903円
矢吹 和夫	100,000円
秋山 カ男	5,000円
飯田 親男	4,010円
フリーマーケットはちみつ倶楽部	2,000円
檜山 成男	10,000円
渡辺 恵美子	960円
加瀬 嘉明	11,560円
コメリ 岩間店	1,144円
岩間地区チャリティーゴルフ	102,500円
匿名12件	194,749円

あがき
本号では、合併記念講演会が行われたこと・新社協各委員会の役割・新年度事業予算等を掲載し、「支所だより」欄を設け、各支所内のさまざまな活動を紹介します。各支所の活動状況を通して、協働型のまちづくりを進め、福祉の向上が図られると思います。

(山田)

順不同・敬称略

茨城県知事表彰	高久 照美	市社協評議員
茨城県知事表彰	笠間市ボランティア連絡協議会	
茨城県社会福祉協議会会長表彰	渋谷 京子	民生・児童委員
茨城県社会福祉協議会会長表彰	佐藤 昭江	民生・児童委員
茨城県社会福祉協議会会長表彰	川連 キヌ	市社協理事
茨城県社会福祉協議会会長表彰	ト部 開	心配ごと相談員
茨城県社会福祉協議会会長感謝	海老原元彦	社協への寄付金

おめでとうございます
平成18年10月25日、龍ヶ崎市文化会館を会場に第56回茨城県社会福祉大会が開催され、これまで多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方が顕彰されました。

おめでとうございます